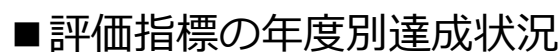


■新発田市地域公共交通網形成計画 体系図



【目標 1】 地域特性に応じた使いやすく、わかりやすい公共交通								
評価指標	現状値	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
		目標値／実績値	目標値／実績値	目標値／実績値	目標値／実績値	目標値／実績値	目標値／実績値	目標値／実績値
① 路線バスの年間※利用者数 ※バス事業年度（10月から翌9月まで）	120,371人 (H28年度)	121,175人	121,979人	122,783人	123,588人	124,392人	125,196人	126,000人
		109,657人	56,543人	55,267人	52,027人	47,683人	46,380人	
	達成状況	×	×	×	×	×	×	
R3に月岡・乗廻線が市のコミュニティバスに切り替わったため、R4実績の全体からその分は減少しているが（R3月岡・乗廻線4,391人）、それ以外の路線は概ねコロナ禍前のH30の水準に戻っている。 また、市の運行見直しでH28には11路線あったが、R4には4路線になり、目標設定時から状況が変化していることから、目標値の再設定が必要になっている。								
② コミュニティバスの年間利用者数	108,401人 (H27年度)	111,487人	114,572人	117,658人	120,743人	123,829人	126,914人	130,000人
		121,060人	106,621人	92,739人	78,976人	88,496人	85,456人	
	達成状況	○	×	×	×	×	×	
R4実績値の内訳は、新発田市コミュニティバス（菅谷・加治）42,114人（前年度比-378人）、川東コミュニティバス45,783人（前年度比-2662人）で、両路線とも利用者数が減少しているが、概ね両路線ともコロナ前の水準に戻っている。高校生の人数が年々減少傾向にあり、利用者数もそれに併せて減少傾向になることが予想されるため、利用ニーズに見合った運行の見直しによる効率的な運行（車両のコンパクト化、運行のスリム化）と、利用促進を図っていく必要がある。								
③ 路線バスの見直し地区数	4地区 (H28年度)	6地区	7地区	8地区	8地区	8地区	8地区	8地区
		4地区	5地区	5地区	5地区	5地区	6地区	
	達成状況	×	×	×	×	×	×	
学校統合等により路線バスの見直しを行った地区は、菅谷・加治、川東、五十公野・米倉・赤谷、松浦、豊浦、加治川の6地区となっている。学校統合の検討が行われている地区を最優先に公共交通の見直しを進めてきたが、高齢化が進行中、既存の路線バスやコミュニティバスの運行を含め、新発田版デマンド方式を基軸とした市全域の公共交通網の再構築が急務となっている。								
④ 「バスどこ？」HPへの年間アクセス件数	14,162件 (H27年度)	15,710件	17,259件	18,807件	20,355件	21,903件	23,452件	25,000件
		32,098件	25,712件	16,291件	10,116件	13,758件	30,193件	
	達成状況	○	○	×	×	×	○	
令和3年12月に対象路線を新発田市コミュニティバス（菅谷・加治）、川東コミュニティバス、松浦地区デマンド乗合タクシー、令和4年12月に豊浦地域に拡大し、アクセス数が増加した。ダイヤが乱れやすい冬のシーズンにはアクセス数が増加することから、バス利用の不安を解消するツールとして一定の役目を果たしているが、一部区間でGPSが不安定になるなど、システムの精度の改善をしていく必要がある。								

【目標2】 地域とともに作り、支える、持続可能な公共交通								
評価指標	現状値	H 2 9 目標値／実績値	H 3 0 目標値／実績値	R 1 目標値／実績値	R 2 目標値／実績値	R 3 目標値／実績値	R 4 目標値／実績値	R 5 目標値／実績値
① 地域における検討支援体制の構築数	4団体 (H28年度)	6団体	7団体	8団体	8団体	8団体	8団体	8団体
		4団体	6団体	7団体	7団体	7団体	8団体	
	達成状況	×	×	×	×	×	○	
令和5年度運行開始を目標とする加治川地域公共交通の運行内容を協議するため、令和4年度に新たに加治川地域で検討組織を立ち上げ、協議を行った。								
② 路線バス利用者1人当たり運行経費	1,077円／人 (H28年度)	1,070円／人	1,063円／人	1,056円／人	1,049円／人	1,042円／人	1,035円／人	1,028円／人
		1,205円／人	1,298円／人	1,280円／人	1,258円／人	1,083円／人	932円／人	
	達成状況	×	×	×	×	×	○	
月岡・乗廻線の見直しによるコミュニティバス切替により、運行経費が削減され、一人当たり運行経費は低くなった。一部路線では1人当たり運行経費が高くなっているため、引き続き運行の効率化、利用促進を図り、改善していく必要がある。								
③ コミュニティバス利用者1人当たり運行経費※1	747円／人 (H27年度)	729円／人	712円／人	694円／人	676円／人	658円／人	641円／人	623円／人
		683円／人	799円／人	926円／人	1,141円／人	1,013円／人	1,150円／人	
	達成状況	○	×	×	×	×	×	
新発田市コミュニティバス（菅谷・加治）、川東コミュニティバスともに前年度と比べて利用者数が減少し、かつ、川東コミュニティバスの車両修繕費の増加により1人当たり運行経費が増加した。今後も運行の見直しによって経費の削減を図るとともに、地域との協働による利用促進策を継続して行っていく必要がある。								
④ 公共交通の利活用を推進する年間取組数	4件 (H28年度)	10件	11件	12件	12件	12件	12件	12件
		6件	10件	12件	1件	1件	12件	
	達成状況	×	×	○	×	×	○	
近年はコロナ禍により、乗り方教室等を開催できずにいたが、令和4年度は乗り方教室を4件、乗り方説明会を2件行った。また、その他に市内の高校新入生へバス利用のチラシを配布、マイ時刻表や利用促進のチラシを作成して利用促進を図った。今後も将来にわたって地域の公共交通を維持していくために、利用促進の取組を積極的に進めていく必要がある。								

【目標3】 まちの変化に応じた公共交通								
評価指標	現状値	H 2 9 目標値／実績値	H 3 0 目標値／実績値	R 1 目標値／実績値	R 2 目標値／実績値	R 3 目標値／実績値	R 4 目標値／実績値	R 5 目標値／実績値
① あやめバス（市街地循環）の年間利用者数	80,582人 (H27年度)	80,956人	81,330人	81,704人	82,078人	82,452人	82,826人	83,200人
		81,661人	78,277人	75,533人	63,905人	64,969人	67,068人	
	達成状況	○	×	×	×	×	×	
令和4年度は、前年度から引き続き増加したものの、コロナ禍前の水準には戻っていない。市街地循環バスは、中心市街地における重要な移動手段であり、利用者数の推移をみながら、運行ルートやダイヤの見直しを行っていく必要がある。								
② 通学における高校生の公共交通利用率	51.0% (H28年度)	52.4%	53.9%	55.3%	56.7%	58.1%	59.6%	61.0%
		—	—	50.2%	—	—	54.6%	
	達成状況	—	—	×	—	—	×	
令和4年度は市内高校生の2学年を対象にアンケートを取った。およそ半数が鉄道、バスで通学している。アンケートの中での改善要望として多く上がっていたのが、「便数を増やす」ことと、「時刻表やルート図を見やすくする」であったため、公共交通の利用率を上げるため、運行ダイヤの見直しや、時刻表を見やすくするなど、改善策を検討していく必要がある。								

※「評価」欄の○は達成、×は未達成

【参考】

※1 コミュニティバス利用者1人当たり運行経費（R4年度）

路線名	新発田市コミュニティバス（菅谷・加治）	川東コミュニティバス	計
運行経費	45,571,580円	52,744,650円	98,316,230円
利用人数	42,114人	43,342人	85,456人
1人当たり	1,082円／人	1,217円／人	1,150円／人

新発田版デマンド方式運行路線の利用者1人当たり運行経費（R4年度）

路線名	松浦路線	豊浦路線	計
運行経費	3,945,359円	10,092,305円	14,037,664円
利用人数	2,536人	2,241人	4,777人
1人当たり	1,556円／人	4,503円／人	2,939円／人

施策1	地域や利用者の移動ニーズに対応する移動手段の確保				実施中	一部 実施	未実施	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	事業1-1	市内高校へ通学しやすい運行時間や運行ルートの設定			●			随時実施						
	事業1-2	通院や買い物の往復など利用状況に対応した適切な運行			●			随時実施						
	事業1-3	新発田市コミュニティバス（菅谷・加治地区）の継続運行			●			随時見直し実施						
	事業1-4	川東コミュニティバスの継続運行				●		毎年度検証・見直しを行う		継続又は見直し				
	事業1-5	東中学校区の公共交通の見直し			●			優先的に検討・実施						
	事業1-6	各地区の公共交通の見直し				●		随時実施						
	事業1-7	コミュニティバス運賃の見直し				●		コミュニティバスの検証・見直しに応じて検討						
	事業1-8	高校生や高齢者への運賃割引制度の検討と障がい者割引運賃の実施				●		随時実施						
	事業1-9	高齢者運転免許証返納支援事業の継続実施			●			随時実施						
	事業1-10	スクールバスの運行と定期券の購入補助			●			随時実施						
	事業1-11	廃止代替路線の検討、見直し				●		各地区の公共交通の見直しに併せて検討・見直しを行う						
施策2	多様な公共交通の連携による公共交通ネットワークの整備				実施中	一部 実施	未実施	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	事業2-1	鉄道との接続を考慮したあやめバス、コミュニティバス、路線バスのダイヤ改正			●			鉄道のダイヤ改正に応じて実施						
	事業2-2	あやめバスとの接続を考慮したコミュニティバス、路線バスのダイヤ設定				●		バス路線の見直しに応じて実施						
	事業2-3	地域をつなぐコミュニティバスや路線バス同士のダイヤ設定				●		バス路線の見直しに応じて実施						
	事業2-4	利便性向上に向けた鉄道事業者への改善要望活動の実施			●			随時実施						
施策3	公共交通を利用しやすい環境整備				実施中	一部 実施	未実施	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	事業3-1	バス待合所の設置推進とバス待合所設置事業補助金制度の見直しの検討				●		随時実施						
	事業3-2	バリアフリー車両の導入促進と導入車両の検討			●			随時実施						
	事業3-3	市内公共施設と連携したデジタルサイネージを活用した情報発信			●			随時実施						
	事業3-4	「バスどこ？」の対象路線拡大とシステムの再構築				●		バス路線の見直しにあわせて対象地域の拡大を検討						
	事業3-5	バス停案内表示の充実と公共交通ガイドマップの作成				●		バス路線の見直しにあわせて実施						
	事業3-6	地域主催の乗り方教室の開催			●			随時実施						
事業3-7	ＩＣカード導入の検討			●						各地区の公共交通の見直し状況に応じて検討				
施策4	地域全体で公共交通を支える基盤づくり				実施中	一部 実施	未実施	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	事業4-1	ノーマイカーデーの周知・啓発			●			随時実施		休止		実施		
	事業4-2	商店街等と連携した取組の検討				●		あやめバスの検証・見直しに応じて検討						
	事業4-3	車内・車外広告の募集やバス停のネーミングライツの検討				●		随時実施(ネーミングライツは車内・車外広告の募集状況に応じて検討)						
	事業4-4	地域住民の主体的な組織づくりや活動の支援			●			地域住民の意向に応じて実施						
	事業4-5	公共交通の手引きの発行					●			優先的に検討				
	事業4-6	各種イベントやホームページ等の活用による利用促進・意識啓発			●			随時実施						
	事業4-7	サポーター制度の構築				●				地域住民の組織づくりや活動に応じて検討				
事業4-8	高校・大学と連携した利用促進活動				●		随時実施							
施策5	アクセス向上による都市拠点の形成強化				実施中	一部 実施	未実施	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	事業5-1	あやめバスの運行とダイヤ改正やルート変更等による利便性の向上				●		随時実施（ダイヤ改正やルート変更は運行内容の検証に応じて検討）						
	事業5-2	あやめバス利用者に対する移動ニーズ調査				●		優先的に検討						
	事業5-3	あやめバスの新たなネットワークの検討					●			移動ニーズ調査の結果を踏まえて検討				
	事業5-4	パークアンドライドのあり方の検討			●			利用ニーズの状況等に応じて検討						
	事業5-5	駐輪場の維持			●			随時実施						
	事業5-6	公共交通システムとの連携などの検討				●		駅の利用状況等に応じて検討						
	事業5-7	移動ニーズ調査の実施や市内観光施設を結ぶ周遊ルートの策定			●			随時実施						
事業5-8	広域観光周遊ルートの策定			●			随時実施							
施策6	広域的な交通ネットワークの形成強化				実施中	一部 実施	未実施	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	事業6-1	近隣市町をつなぐ公共交通の見直し			●			優先的に実施						
	事業6-2	交通結節点の待合環境の整備と乗継ぎダイヤの見直し [定住自立圏連携事業]				●			随時実施		随時実施			
	事業6-3	広域的な公共交通ガイドや位置情報システムの検討				●				広域的な公共交通の見直しに応じて検討				
	事業6-4	羽越本線の高速化に向けた要望活動の実施やシンポジウムの開催支援			●			随時実施						
	事業6-5	広域交通維持事業（県内都市間高速バス） [連携中枢都市圏連携事業]			●			随時実施						
	事業6-6	生活交通維持事業（地域間幹線系統バス路線） [連携中枢都市圏連携事業]			●			随時実施						
R4進捗状況別事業数				23	19	2								
R3進捗状況別事業数				22	18	4								
R2進捗状況別事業数				22	18	4								
全事業数				44										